

教科	英語	学年	第3学年	担当者	宮田 千嘉
----	----	----	------	-----	-------

[教科目標]

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

[使用教科書・教材等]

・教科書（「SUNSHINE ENGLISH COURSE 3」開隆堂）	・ワーク（エイゴラボ3）	・ノート	・ファイル
--------------------------------------	--------------	------	-------

[学習計画]

学期	単 元 名	学 習 の ね ら い（身につけたい力）	準備物
1 学 期	Program1 Bentos Are Interesting!	・ask [tell/want] ～（人） to...の用法を理解し、友だちに手伝ってほしいことについて表現することができる。 ・It is ～（for+人） to...の用法を理解し、好きなことについて表現することができる。 ・〈主語+be 動詞+形容詞+that へ〉の用法を理解し、友だちがしてくれたことでうれしかったことについて表現することができる。	教科書 ノート ファイル ワーク
	Program2 Good Night. Sleep Tight.	・〈主語+動詞+疑問詞節〉の用法を理解し、学校行事について表現することができる。 ・〈主語+動詞+人+疑問詞節〉の用法を理解し、お気に入りの作品について表現することができる。 ・〈主語+動詞+人など+that へ〉の用法を理解し、身近な人がよく言うことについて表現することができる。	
	Program3 A Hot Sport Today.	・〈主語+動詞+目的語+名詞〉の用法を理解し、絵や写真を見てニックネームを考え、表現することができる。 ・〈主語+動詞+目的語+形容詞〉の用法を理解し、おもしろかったり、悲しいと思ったりすることについて表現することができる。 ・〈主語+動詞+目的語+動詞の原形〉の用法を理解し、笑ったり泣いたりするものについて表現することができる。	
	Our Project 7 記者会見を開こう	・記者会見のスピーチ原稿を、既習の言語材料を使って正確に書くことができる。 ・相手に伝わる記者会見することができる。 ・記者会見を聞いてその内容を理解し、適切な質問を即興ですることができる。	
	Reading 1 Faithful Elephants	・英文を読み、登場人物の心情や状況を正しく読み取ることができる。 ・物語に対する自分の考えを書くことができる。	
	Program4 Sign Languages, Not Just Gestures!	・現在分詞の後置修飾の用法を理解し、絵の中の動物について表現することができる。 ・過去分詞の後置修飾の用法を理解し、好きな歌手や本、映画などを表現することができる。	
2 学 期	Program 5 The Story of Chocolate	・関係代名詞主格（who）の用法を理解し、将来どのようになりたいかについて表現することができる。 ・関係代名詞主格（which）の用法を理解し、動物についてクイズを作ることができる。 ・関係代名詞主格（that）の用法を理解し、友だちをある場所に誘うことができる。	教科書 ノート ファイル ワーク
	Program 6 The Great pacific Garbage Patch	・関係代名詞目的格（which）の用法を理解し、お気に入りの作品について表現することができる。 ・関係代名詞目的格（that）の用法を理解し、教科書に載っている人物の持ち物について表現することができる。 ・関係代名詞目的格の省略の用法を理解し、好きな食べ物やよく食べるものなどについて表現することができる。	
	Our Project 8 あなたの町を世界にPRしよう	・友だちのPRを聞いたり台本を読んだりして、伝えたい情報を理解し、考えたことを即興でアドバイスすることができる。	
	Program 7 Is AI a Friend or an Enemy?	・仮定法過去（be 動詞）の用法を理解し、動物だったらしたいことについて表現することができる。 ・仮定法過去（一般動詞）の用法を理解し、たくさんのお金を持っていたらしたいことについて表現することができる。 ・〈I wish+主語+仮定法過去〉の用法を理解し、会ってみたい有名人や、その人になりたいことについて表現することができる。	
	Reading2 Malala's Voice for the Future	・英文を読み、登場人物の心情や状況を正しく読み取ることができる。 ・物語に対する自分の考えを書くことができる。	
3 学 期	Special Project 中学校の思い出を残そう	・中学校の思い出について、クラスやグループで原稿を考え、作ることができる。	教科書 ノート ファイル ワーク
	Further Reading 1. The Ig Nobel Prize 2. Library Lion	・イグノーベル賞についての英文を読んで理解することができる。 ・物語を読んで自分がいちばん大事に思ったことを表現することができる。	

[評価の観点と評価の方法]（通知表のつけ方）

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	単元テスト、小テスト、パフォーマンステスト	単元テスト、パフォーマンステスト	活動の観察、パフォーマンステスト、

[授業の受け方・学習のポイント]（担当の先生からのアドバイス）

① 英語の学習では、「聞く」「読む」「書く」「話す（やり取り・発表）」力をバランスよくつけていくことが大切です。
② そのためには、耳、口、目、手を使って、習ったことを繰り返し復習しましょう。
③ 新しく出てきた単語や文の発音は、授業中に先生やリスニングCDの発音をよく聞いて、繰り返し音読して覚えましょう。
④ 授業中は、間違いを恐れずに、積極的に発表しましょう。学習についてわからないことは、遠慮なく質問してください。

[家庭学習の進め方・学習のポイント]（担当の先生からのアドバイス）

① 英語は予習よりも復習が大事です。その日に学習したことはその日のうちに復習しましょう。
② 教科書の英文や単語など、読みながら書く練習を何度も繰り返しましょう。

